

愛の缶詰大作戦!

おうちに眠っている

缶詰を

集めています

賞味期限が
3ヶ月以上の缶詰
おひとつから受け付けます!

フードドライブとは?

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

日本にはなじみの薄い言葉ですが、フードバンク発祥の地、アメリカでは1960年代から盛んに行われていると言われています。



フードバンクって?

安全に食べられるのに梱包資材の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈していただき、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。

愛の缶詰
大作戦!こどもたちに
笑顔届けよう!

港区では「フードドライブ」受付窓口を設置し、未利用食品を回収しています。

2021年

10.1 [金] ▶ 11.5 [金]

受付回収時間/平日10:00~17:00

※回収場所により時間が異なりますのでご注意ください。

【お問い合わせ】文化放送内「浜祭」事務局

TEL.03-5403-2626 (平日10:00-17:00)

缶詰回収場所

ポンテセとうみ店内

浜松町2-6-5

アトレ竹芝

the 3rd Burger前

港区観光インフォメーションセンター

モノレール浜松町駅構内(JR⇄モノレール乗換口)

港区エコプラザ

浜松町1-13-1

芝パークホテル

芝公園1-5-10

文化放送 FM91.6/AM1134

文化放送 2階ロビー 浜松町1-31

X
SECOND HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン文化放送「浜祭」
今年はオンライン!詳細はこちらから
浜祭

食品ロス問題とは

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本では、年間2,531万トンの食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は600万トン。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量（2019年で年間約420万トン）の1.4倍に相当します。また、食品ロスを国民一人当たりで換算すると「お茶碗約1杯分（約130g）の食べもの」が毎日捨てられていることになるのです。「もったいない」といませんか？大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、食品ロスを減らすことが必要です。そこでフードバンク活動の一環として食料を必要としている方々にお届けする「愛の缶詰大作戦」という企画を実施致します。浜松町の街をあげて食品ロス問題の啓発とフードバンク活動の推進に取り組みます。



2019年11月4日「浜祭」で「愛の缶詰大作戦！」実施。

SDGs「つくる責任つかう責任」が 取り上げた食品ロスとは

SDGsで取り上げられるなど、近年食品ロス問題が注目を集めています。SDGsとは世界を持続可能なものとするために作られた国際目標で、17のゴール、169のターゲット（具体的な達成課題）を2030年までに解決することを目指したものです。その12番目のゴール「つくる責任つかう責任」の中に、以下のようなターゲットがあります。

“2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる”。食品ロスの削減を通じてこのターゲットを達成するには個人、事業者、自治体、NPO法人など、さまざまな方面からの協力が欠かせません。



「浜祭」は人と人、人と地域がつながり、たくさんの笑顔が生まれることを目指し、「セカンドハーベスト・ジャパン」とコラボしております。



■協力：「セカンドハーベスト・ジャパン」概要

「すべての人に食べ物を」という理念のもと、まだ食べられるにも関わらず様々な理由で廃棄される運命にある食品を引き取り、それらを児童養護施設の子供たちやDV被害者のためのシェルター、路上生活者などに届ける活動を行っています。

